

DIA CEM#40N

建築仕様

CEM#40Nは、作業性、接着性、耐久性優れ、建築及び土木構造物の断面修復、欠損補修に用いる1粉型ポリマーセメント系の材料です。

特長

- コンクリート及びモルタル等の無機下地との接着性に優れます。
- ポリマーセメント系で耐久性に優れます。
- 1粉型で使いやすく、コテおよび吹き付け施工が可能です。
- 乾燥収縮が小さく、ひび割れの発生が少ない材料です。

概要

種類：1粉型ポリマーセメントモルタル
 用途：断面修復、欠損補修など
 施工：こて及び吹き付け
 適用下地：建築および土木構造物のコンクリート、モルタル等の無機下地
 荷姿：20 kg袋入り

性能

試験項目	品質基準	結果	試験方法
単位容積質量	1.90~1.98kg/L	1.94kg/L	JIS A 1171
付着強さ	標準養生 1.0 N/mm ² 以上	1.4 N/mm ² (下塗材凝集)	JIS A 6916 7.13 *
曲げ強度	6.0 N/mm ² 以上	6.8 N/mm ²	JIS A 6916 7.11
圧縮強度	24 N/mm ² 以上	31.3 N/mm ²	JIS A 6916 7.12
長さ変化試験	±0.15 % 以下	-0.08 %	JIS A 6916 7.16

※下塗り セメンシヤス#2000

※CEM40Nの積算比重は1.55

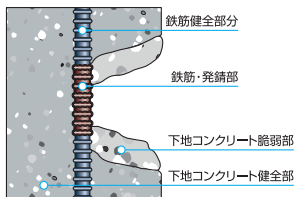
安全衛生

- ① CEM#40Nは強アルカリ性なので取扱いは出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を使用下さい。
- ② CEM#40Nが皮膚に触れた場合はセメント同様の処置をして下さい。取扱い後は、手洗い、うがい、鼻孔洗浄を充分に行って下さい。
- ③ 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ④ 施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

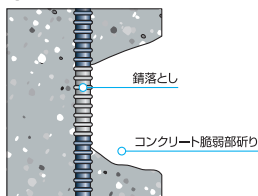
CEM#40N

施工工程

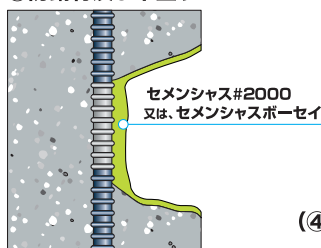
現状



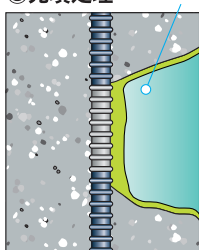
① ハツリ・ケレン



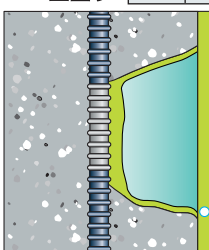
② 防錆材及び下塗り



③ 充填処理



④ 防錆材及び上塗り



建築標準仕様

工程	材料	希釈割合	所要量	塗回数	間隔時間	
					工程内	工程間
① 下地処理	(1) 素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レイタンス等を完全に除去して下さい。 (2) 錆鉄筋研りだし 発錆による浮き、剥離部を左官用ハンマー、タガネ等で研り、健全な鉄筋を出します。 (3) 錆落とし及び清掃 鉄筋についている錆びをワイヤーブラシ、サンドペーパー及びケレン工具を用い除去し、圧縮空気、ウエス、ダスター刷毛等で十分清掃する。 (4) 脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。					
② 防錆材及び下塗り	セメンシヤス#2000 主材 混和液 清 水	15 kg 5 kg 1.0~1.5 ^{kg}	0.8~1.0kg/m ²	1	—	2時間以上
② 防錆材及び下塗り	セメンシヤスポーセイ 主材 混和液	2.5 kg 1 kg	0.8~1.0kg/m ²	1	—	1時間以上
③ 充填	CEM#40N 清 水	20 kg 4.0~6.0 ^{kg}	約31kg/m ³ (20mm厚)	1	—	16時間以上
④ 防錆材及び上塗り	セメンシヤス#2000 主材 混和液 清 水	15 kg 5 kg 1.0~1.5 ^{kg}	0.8~1.0kg/m ²	1	—	16時間以上
⑤ 仕上げ	各種仕上げ材を施工します。					

※下地コンクリートが脆弱な場合は、セメンシヤス#2000を施工前にダイヤシーラーエポを塗布し、固着処理して下さい。鉄筋には塗らないようにして下さい。
※露出鉄筋のない箇所は下塗りとしてセメンシヤス#2000の替わりにダイヤエポ強化材EW又は、シーラーエポを使用することが可能です。
※塩害による爆裂鉄筋部への防錆処理にはセメンシヤスポーセイを、一般の防錆処理にはセメンシヤス#2000を使用して下さい。

注意事項

- ① 素地に付着しているゴミ、汚れ、油脂類、粉類、エフロレンス、レイタンスは除去して下さい。
- ② 雨上がり後は、下地面が均一に乾いてから施工して下さい。
- ③ 材料は使用前に充分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。
- ④ 混練後、夏期で0.5時間、冬期で1時間以内に使用して下さい。
- ⑤ 施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%以上の場合、結露が発生する可能性がある場合、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上り不良、剥離などの不具合が発生し、本来の性能を発揮出来ないおそれがあります。
- ⑥ 水を加えすぎると本来の強度を発揮しない場合があります。所定の希釈量を厳守して下さい。
- ⑦ 1回の厚みは20mm程度とし、付け送る場合は表面に軽くクシ目を入れ、5時間程度乾燥後、表面がしまったら、こてで加圧しながら平滑に仕上げます。
- ⑧ 欠損部が深く、広い場合はアンカーピンを打ち、ステンレスワイヤーを掛けて脱落防止とします。
- ⑨ 材料は乾燥しますと取れませんので、塗付面周辺の養生を行ない、周辺を汚さないように注意して下さい。
- ⑩ 材料が硬化するまでは損傷、汚染などないようにするとともに、降雨などからも養生します。
- ⑪ 乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
- ⑫ 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点について仕様書等をご確認下さい。

 **株式会社 タイフレックス**
DYFLEX

取扱店

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル
☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021
URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。